

令和7年3月31日
さぎそう学舎
世田谷区立九品仏小学校
校長 笛木 毅

令和7年度に向けた改善方策について

学校関係者評価委員会の皆様には、「学校関係者評価アンケート(生徒・保護者・地域・教職員)」などのデータを基に分析・議論を重ねていただき誠にありがとうございました。

九品仏小学校は、この「学校関係者評価委員会報告書」を真摯に受け止め、ご提出いただいた内容に対し、以下のように改善して参ります。

1 教室環境の工夫(ユニバーサルデザイン)

どの教室でも大型テレビや教卓の位置、黒板横の掲示物をカーテンで目隠しするなど、どの教室でも同じ配置にすることで子どもたちが安心して学習できる環境を整えてまいります。

2 異学年交流(たてわり班活動・合唱団)

令和7年度より長年実施してきました全校遠足が廃止となりました。日頃のたてわり班活動を通して、上級生と下級生が協働する活動を取り入れてまいります。

合唱団では、校長と音楽専科が朝練習を行い、表現することの素晴らしさ伝えてまいります。

3 実技・体験活動の充実

体育科や音楽科、図画工作科、家庭科などの実技や体験的な学びを重視し、体を動かしたり、表現したりする中で、子どもたちの可能性を広げていきます。

子どもたちが、自分自身を知るために、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思っております。失敗から学ぶことも沢山あります。その失敗から「できた」喜びを沢山実感できる教育活動進めてまいります。

4 地域・保護者との連携

九品仏の温かい地域の中で学校・地域・保護者が連携し、PTA、学校支援コーディネーター、L アンシ、教育ボランティアの皆様にご協力いただき心の温かい子どもたちを育ててまいります。

5 キャリア教育の推進(キャリアパスポート)

「自分らしく生きる力」を育てるための学びでもあるキャリア教育。「自分の良さや得意なことに気付くこと」「友達と協力して何かを成し遂げる経験」「いろいろな大人の仕事や生き方に触れること」「将来の夢や目標について考えること」といった活動を通して子どもが「自分はどうかしたいか」「どんなふうに社会と関わっていききたいか」と考える習慣を育ててまいります。